

教科横断型授業～生物・英語・医進類型指定事業～

対象：2学年理系（物理選択）クラス

単元：Essential Reading 1 Unit 9 New Faces

Keywords for Japan Unit12 Buying Organs

「臓器移植」をテーマに、生物とコミュニケーション英語Ⅱの教科横断型授業を行いました。

本校は、医進類型指定校のため、医学部医学科への進学を希望する生徒はもとより、将来医療職に従事することを希望している生徒も多くいるため、この単元では、「臓器移植」と「生命倫理」をテーマに学習を深めました。

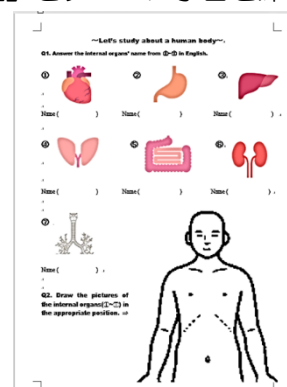
まず、1年次の生物基礎の授業で行った、臓器の役割をゲーム形式で復習したり、体内での各臓器の位置を、絵を描いて再現して復習し、それぞれの臓器の英語名を学習しました。次に、

「日本において心停止で移植できる臓器は？脳死で移植できる臓器は？」

「臓器移植のメリット・デメリットは何？」

「臓器を買うことはできる？いくらぐらいだと思う？」

などの発問をし、テーマである「臓器移植」についての予備知識をつけ、Keywords for Japan の Unit12 Buying Organs を読み、臓器売買の実態について知識を深めました。



その後日本での臓器移植件数が他の先進国と比較して少ないこととその理由についてディスカッションをし、

- ①自分が病にかかった場合、臓器移植を望むか
- ②家族や恋人が病にかかった場合、臓器移植を望むか
- ③自分が脳死状態になった場合、臓器を提供するか
- ④家族や恋人が脳死状態になった場合、臓器提供に応じるか
- ⑤自分が医者だった場合、脳死状態の子どもの両親に臓器提供を依頼するか

などについて生徒同士でロールプレイをし、様々な立場で「臓器移植」について考えました。

最後にドナーカードについて紹介し、「臓器提供」についての意思表示をすること、「臓器提供」について家族や大切な人と話し合うことの意義について考えました。